

present ミハラッセ 50号記念 愛読者さまアンケート

2007年3月に創刊し、ご愛読者のみなさま、取材を快くお引き受けくださる出演者の方々のおかげで、ミハラッセは50号を迎えることができました。本当にありがとうございます！そこで、ワクワクするような出会い、より充実した誌面をお届けするため、ミハラッセの読者の方に今後のミハラッセについてアンケートを実施したいと思います。お答えいただいた方の中から抽選で5名様に、三原市出身の園田美穂さんの著書「広島への愛のかき氷」をプレゼントさせていただきます。

ミハラッセ 50号記念 愛読者さまアンケート

《該当する答えにチェックを入れてください(複数回答可)》

■ミハラッセを毎号ご愛読いただいていますか？

- 必ず読んでいる 見かけたら手に取る
今回が初めて その他()

■ミハラッセを主にどこで手にされますか？

- 広島県内の道の駅() 広島県内の公共施設()
広島県外の道の駅() 広島県外の公共施設()
ホームページ内のPDF その他()

■今後、どんな企画をお望みですか？

- 地域の人や情報にクローズアップしたのも
イベントやグルメに特化したもの 読者参加型の企画
その他()

■今後、媒体としてどんな形がお望みですか？

- 現在の紙媒体とホームページ内のPDF ホームページ内のPDFのみ
ミハラッセ専用ホームページや専用アプリ
その他()

ミハラッセへのご意見・ご感想をお聞かせください(自由記述)

フリガナ
お名前 ()歳

〒
ご住所

職業
メールアドレス
または電話番号

切り取り線に沿って切り、
郵便はがきに貼って下記まで
お送りください。

《送り先》

〒723-8601
三原市港町3丁目5番1号
三原市地域企画課内
「ミハラッセ50号アンケート」係



WEBからもアンケートにお答えいただけます。QRコードを読み取り、アンケート応募フォームへアクセスしてください。

《締切》

令和3年9月30日
当日消印有効

発表は当選者への通知をもって
発表にかえさせていただきます

※お送りいただいた個人情報は慎重に保管し、「ミハラッセ」以外の目的では使用いたしません。お便り、メールは本誌でご紹介させていただきます。匿名希望の方はペンネームも一緒にお書き添えください。



会社の敷地内には、素晴らしい日本庭園と池があり、鯉が泳いでいる

品評会の優勝こそ我が使命 新しい飼育技術に情熱を傾ける

池は全部合わせて40ヘクタール、東京ドーム8.5個分の広さがあり、その中には3200万匹もの鯉が泳ぐ。三原市大和町のあちこちに見られるこの養殖池を管理しているのが「阪井養魚場」だ。5代目の阪井健太郎さんは、ここで育てた鯉を、世界で最も権威のある「全日本総合錦鯉品評会」に出品。2000(平成12)年の32回大会から2020(令和2)年の51回大会の間に、なんと11度も総合優勝に輝いているのだ。今年はコロナ禍で開催されなかったが、すでに来年の品評会優勝に向け、世界一の鯉を出品する準備が始まっている。「阪井養魚場」は、今から120年前、食料用鯉の養殖からスタートし、阪井さんの父親が養魚事

業として確立させた。「父が買い付けた『どんぐり』と『さくら』2匹のメスの親鯉が全て。この2匹から優秀な子孫が生まれ、今に続いていま」と阪井さん。

3200万匹の錦鯉から、
チャンピオン候補になれる鯉は
たったの1200匹です

父から受け継いだ素晴らしい血筋と充実した飼育施設、早くから実践した科学的養魚方法が、これまでの素晴らしい結果につながっているのだ。鯉の産卵は年1回。ペアリングによって、美しい模様が出るか否かが決まるが、「それはまさに賭けのようなもの」と阪井さん。品評会で勝てる鯉かどうか見分けるには、4年くらいかかるそうで、気の抜けない毎日が続く。

世界でもすでに名の知られた阪井さんだが、「実績が全ての世界で、ゴールはない。これからも世界中のお客様のため、毎年優勝が果たせるよう努力していくしかないです」と言い切る。それは今や、阪井養魚場5代目の使命でもある。



SHOP DATA

さかいようぎょじょう
阪井養魚場
☎ 0847-33-1822
📍 三原市大和町上徳良 1067



5代目の
阪井健太郎さん

阪井養魚場

インドネシア人オーナーの鯉(4歳)、約90センチあり、2年後のチャンピオン候補、ボリュームのある体形、色、つや、風格が重要なポイントとなる

錦鯉